

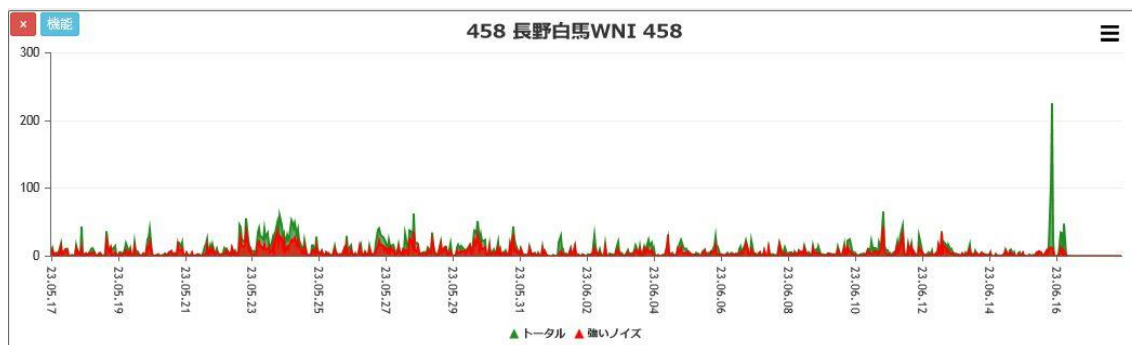
昨日 6 月 15 日の午後から 6 月 16 日にかけて、日本列島の西側で広範囲の同期した 1 本立ちのデータが出ています。位置は、長野から福井、石川、京都、岡山を通り鳥取（米子）、山口（柳井）、さらに九州の大分（別府）、佐賀までの広範囲です。このデータの原因としては 昨日 6 月 15 日は九州から関東まで、大きな雨雲が通過しており、これに伴う雷雲の影響が第一に考えられます。しかし同じように雨雲が通過した観測点でもデータが出ていないところも多々あり、また通常、雷雲の影響ではデータが数百/h 程度が多いのですが 今回はいくつかの観測点で数千から数万になっており、単に雷雲の影響だけ、とも言い切れません。今後、特に日本海側の地震の可能性に注意したいと思います。以下に各地のデータと位置関係を載せますので参考にしてください。

各地のデータ（30 日間）

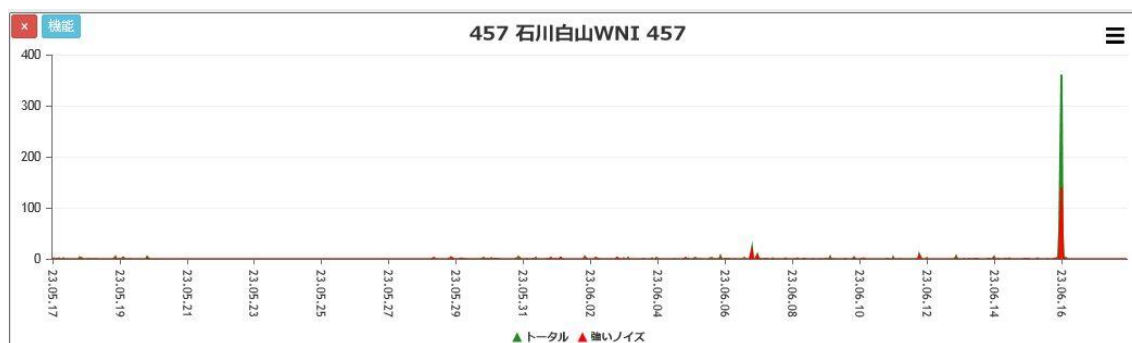
長野 安曇野 30 日間データ



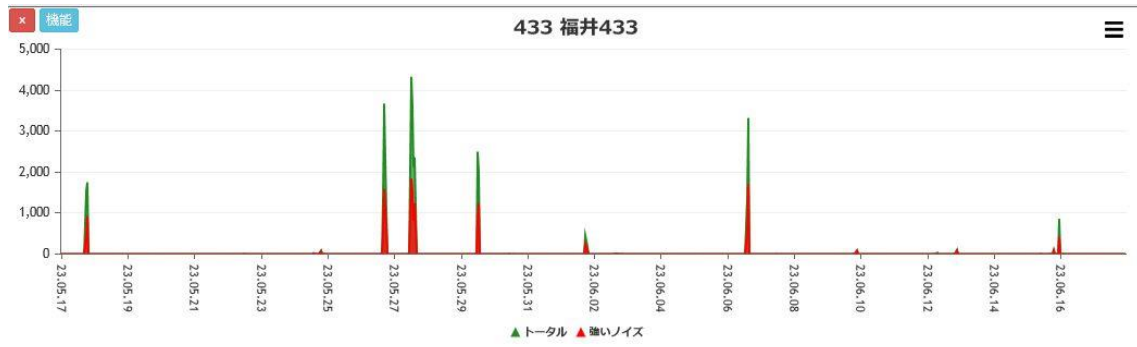
長野 白馬 30 日間データ



石川 白山 30 日間データ



福井 30日間データ



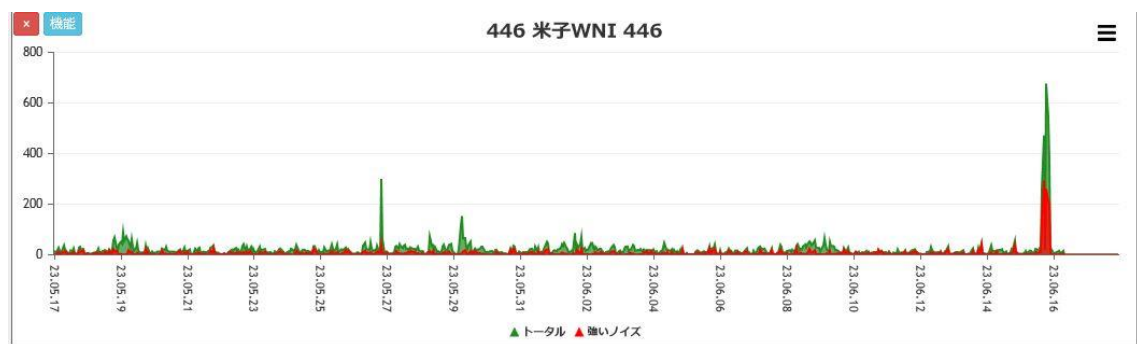
京都 30日間データ



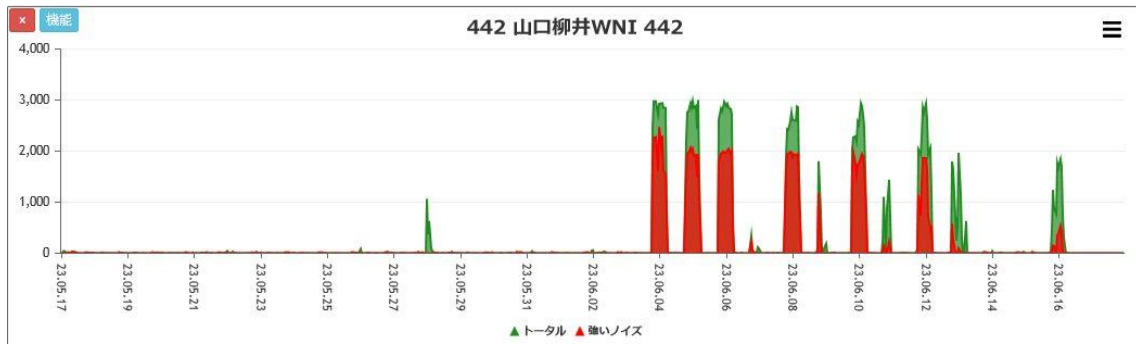
岡山 真庭 30日間データ



鳥取 米子 30日間データ



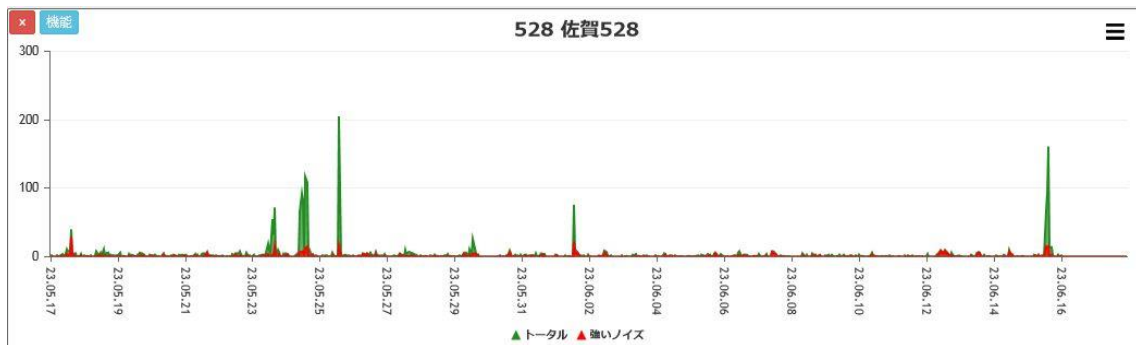
山口 柳井 30日間データ



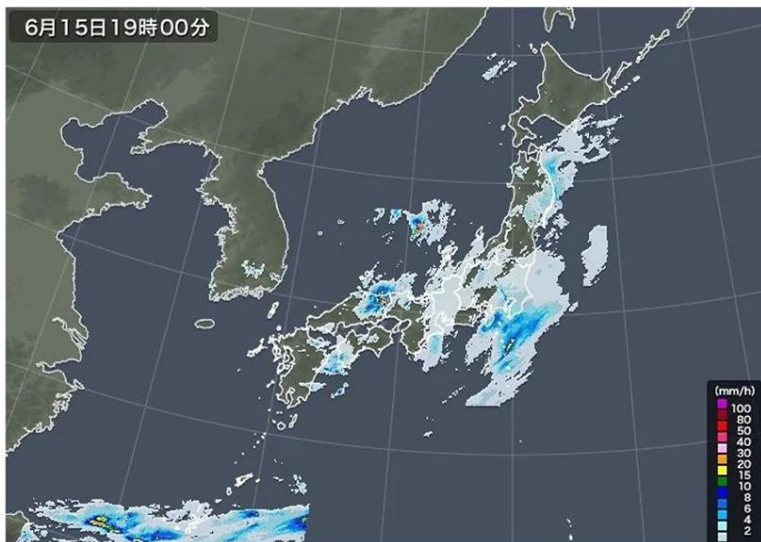
大分 別府 30日間データ



佐賀 30日間データ



6月15日の雨雲の状況



位置関係

